

まちづくりの 新たなシンボルに

岐阜商工会議所会館 耐震リニューアル工事完成



10/25 会館耐震リニューアル工事完成式典



当所会館は、今から55年前の昭和37年に建設されました。

当時はマグニチュード8にも耐えられる設計でしたが、老朽化が進み、創立100周年を機に建替え・移転の議論がされるようになりました。

そのような折、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災を契機に、安全面から本格的な議論がされ始めましたが、しばらくして岐阜市はじめ近隣の2市4町による平成の大合併が推進されることとなり、経済団体の集合する当会館の所在するべき場所が流動的となったため、会館に関する議論は一旦中断となりました。

しかし、当所創立120周年の翌年、平成23年に発生した3・11、東日本大震災発生を契機として改めて大震災への対応の必要性が議論されはじめ、岐阜市中心市街地活性化に資するという見地から、会館は現在地にあることが望ましく、加えて先人より受け継いだ資産を大切に次世代に繋げていきたいという思いから、会館の耐震リニューアル工事に向けて計画が一気に動き出しました。

そして、昨年3月の当所議員総会において、耐震リニューアル工事が正式に承認され、同年7月より着工し、約1年4か月の工事期間を経て、

本日完成を迎えることができました。耐震リニューアル後の当会館は、

1階に創業等を支援するセミナールームを設け、全室に無線インターネット環境を整備いたしました。

また、災害時には地域住民の皆様への避難場所としていただくため、岐阜市と防災協定を締結いたしました。

今後、商工業者の皆様には積極的にご活用いただくとともに、工事の折、ご高配を賜りました近隣の方々にも親しまれる会館となれば、これに過ぎる慶びはございません。

この会館がリニューアルしたように、私どもも気持ちを新たに、地域社会から広く厚く信頼を寄せられ、末永く社会に貢献する地域総合経済団体であり続けられるよう取り組んで参りたいと存じます。

最後になりましたが、この会館耐震リニューアル工事にあたりまして、物心両面にわたり格別のご高配を賜りました議員様をはじめ、お力添えをいただいた関係各位の皆様と、工事関係者の皆様に対しまして、改めて深く感謝いたします。

平成29年10月25日

岐阜商工会議所
会頭 村瀬幸雄

開放的な空間



バルコニー

ガラスの壁面が開放的な空間を創り出し、さまざまな「今」を発信することができます。スクリーンやディスプレイ、スポットライトを設置し、セミナー・ミーティング、記者会見など幅広く利用できます。



1-A会議室 50名程度収容



電動スクリーン・マルチディスプレイを配備



1-B会議室 35名程度収容



記者会見などにも利用できます

多彩な行事に対応

大ホールは2分割して使用できるようにも工夫。多彩な行事に対応可能となりました。



大ホール 400名程度収容



岐阜のメインストリート「長良橋通り」で繰り広げられるイベントに大声援を送ることができるスペースに。

安全性と耐久性

耐震工事では「安心して人が集える空間」を目指しました。窓には梯子型のフレームをはめこみ、さらに山型の鉄骨を使うことで耐震性を強化。最新の耐震構造で、災害時、地域の防災拠点としての役割を担います。



レトロモダンな空間

エントランスロビーは、かつて長良川の重要な川湊として栄え、岐阜市の歴史を色濃く映す「川原町」の町並み、格子戸をモチーフとしたレトロモダンな空間に設えました。時代を見据え、ここに Pepper を導入しました。



Pepperに声を掛けたり、胸のタブレット端末を操作したりすると、横に設置されたディスプレイに案内内容が表示されます。



エントランスロビー

快適性への向上

空調設備やトイレ、共用部の内装など、施設を使用する方々への配慮を一番に考えました。



バリアフリー

皆様からのご支援により生まれ変わりました
岐阜経済の振興・発展、
魅力あふれる地域づくりに
一層努めます。

私たちはこれからも 「岐阜の街のまん中」で活動を続けます。

気持ちを新たに、
これからも皆様から信頼され、地域社会に役立つ
「岐阜商工会議所」であり続けられるよう
心を一つに取り組みまいります。



岐阜市の防災拠点に

岐阜商工会議所×岐阜市 「災害時における施設開放に関する協定」の締結

当所では、災害時、地域住民の避難所として岐阜商工会議所会館を開放し、防災拠点としての役割を新たに担うため、このたび岐阜市との間で協定を締結しました。

- 協定内容
- (1) 開放する施設
岐阜商工会議所会館(岐阜市神田町2丁目2番地・明徳地区)
 - (2) 受入箇所及び受入人数
2階大ホールや会議室など989㎡(299人収容)
 - (3) その他
避難者に対して、備蓄する毛布や、テナントとして入居しているレストランからの食料の提供ができるよう進めていく。



災害時における施設開放に関する協定

村瀬幸雄会頭(左)と神山 興岐阜市防災監兼都市防災部長(右)

各種会議室・大ホール貸し出し予約受付中！ (平成30年3月31日ご利用分まで) P19参照

- 工事の概要
 - (1) 改修コンセプト
 - ① 現在地で改修することにより、先人の篤志を継承するとともに、県都の商工会議所およびまちのシンボルとして、将来にわたって存在感を示す建物であり続ける。
 - ② 耐震補強により安全性を向上させるとともに、大ホール等を災害時における避難場所として市民に開放し、防災拠点としての役割を新たに担う。
 - ③ 耐震補強には、見栄えに配慮した工法を採用し、商工会議所としてよりふさわしい外観にする。
 - ④ 空調・トイレ等の設備あるいは共用部の内装をリニューアルし、来館者の快適性および利便性を向上させることにも、省エネ化により環境にも配慮する。
 - (2) 設計および施工の特徴
 - ① 耐震補強に格子状の部材をおもに使用し、美観を保護
 - ② 既存のサッシを外し、出窓にして開放感を演出
 - ③ 騒音が少ない接着工法を採用し、居ながら工事を実現
 - (3) 施工場所
岐阜商工会議所会館(岐阜市神田町2丁目2番地)
 - (4) 建物の概要
鉄骨鉄筋コンクリート造 地上5階塔屋2階
延面積 5,700.35㎡
 - (5) 工期
平成28年7月1日～平成29年10月31日
 - (6) 総事業費
10億円(予定)
 - (7) 施工内容
 - ① 耐震補強工事
 - ② 大ホール天井改修工事
 - ③ 空調設備改修工事
 - ④ トイレ改修工事
 - ⑤ 外装改修工事
 - ⑥ 玄関ロビー壁仕上改修工事
 - ⑦ 共用部内装改修工事
- 着工までの経過
 - 平成24年7～10月 耐震診断実施
会館建設委員会において、設計業者および施工業者を選定
 - 平成25年12月 耐震補強計画完了
 - 平成26年10月 耐震補強実施設計完了
 - 平成26年6月 耐震補強実施設計完了
 - 平成28年3月 議員総会において、工事計画および協力金、工事費査定支援について承認
 - 平成28年4～5月 査定業者による工事費査定支援業務実施
 - 平成28年6月 施工業者と契約
 - 平成28年7月 着工